

# 進出希望企業からの 問合せ状況は



羽鳥光博



町長

24件ほど  
問合せがあった



高崎玉村スマートIIC北地区  
工業団地の造成状況

**質問** 高崎玉村スマートIIC北地区工業団地の募集・選考が県企業局において、12月から来年3月までに行われるが、町民は関心と期待を寄せている。そこで、新工業団地へ進出を希望する企業からの問合せは、どのような状況か。

**答弁** 町長 町への問合せが、24件ほどあった。県企業局の分譲候補者の選考に、町も参画するのかが、町長 町も選考プロセスに参画する。

**質問** 町の企業誘致のポリシーは何か。

**答弁** 町長 環境との調和や地域貢献、地元雇用等

様々な観点から企業を審査・選考したい。

**質問** 町は誘致宣伝活動を行ったか。

**答弁** 町長 町単独での誘致宣伝活動は、特に行ってない。

**質問** 次の工業団地を造成する予定はあるか。

**答弁** 町長 東部工業団地の拡張を検討している。

**質問** 企業を呼び込む町企業立地促進奨励金を今後、強化する考えはあるか。

**答弁** 町長 奨励金制度の強化は、多額の財政措置が必要である。今後の町の財政状況や周辺市の状況等を考慮しながら判断していきたい。

## 路面標示調査による補修件数の報告を求める

**質問** 令和3年度、町が区長に依頼した路面標示の摩耗状況調査についての結果はどのようなであったか。

**答弁** 町長 令和3年度、町が区長に依頼した路面標示の摩耗状況調査についての結果は、

**答弁** 町長 摩耗した路面標示は、一時停止252か所、横断歩道46か所の計298か所にのぼり、令和3年11月18日に伊勢崎警察署へ路面標示の早期復旧を要望した。その結果について、伊勢崎警察署へ確認したところ、学校周辺や通学路を中心に路面標示の復旧を進めているとのことである。

**質問** 依頼を受けて調査を実施した各区長に対し、補修件数の報告を行うべきではないか。

**答弁** 環境安全課長 補修については、県警本部で対応しているため、伊勢崎警察署では、はっきりとした補修件数を把握していないと認識しているが、各区長や議員に報告できるよう、再度、伊勢崎警察署に問合せをしたい。

## こんな質問もしています

・角刈キャンプ場管理事業について  
・町民の健康増進に向けたスポーツ環境整備について

# 給食費の無料化は 来年度も継続を



津木 浩彦



町長

検討を進め  
早い時期に実施したい

**質問** 学校給食費の無料化は、県内多くの自治体で進み、全額補助が14市町村、一部補助が15市町村となっている。学校給食費の無料化を来年度以降も継続する考えはあるか。

**答弁** 町長 町は国の交付金を活用し、物価高騰等に対する子育て世帯への支援として、小中学校における学校給食費を令和4年12月から4か月間、無料化した。

現在、給食費を無料とする対象範囲の設定や必要な財源の確保など、給食費無料化の継続に向けた検討を進めており、できるだけ早い時期に実施したいと考えている。

## 通学路の安全確保の取組は

**質問** 町の通学路安全プログラムでは、「関係機関が連携して児童生徒が安心・安全に登下校できるよう通学路の安全確保を図る」としている。

通学路の安全確保の措置状況について問う。

**答弁** 教育長 毎年、各学校がPTA等と協力して通学路の点検を行い、交通安全及び防犯の観点から踏まえた点検箇所を教育委員会に報告している。

その報告を受け、学校、役場伊勢崎土木事務所、伊勢崎警察署が合同で通学路の点検を実施した結果、本年度の対応が必要な箇所は22か所あった。11月末時点では8か所が対応済みとなっており、他の箇所についても対応を継続している。

## 郷土芸能保存の施策を

**質問** コロナ禍の中、郷土芸能が中止になり、祭りが消滅しつつある状態が危惧される。

郷土芸能を保存するための施策をより一層充実させる考えはないか。

**答弁** 教育長 指定文化財となっている伝統芸能や

祭りの保存会に毎年上限3万円を補助し、備品の修理や新調への補助も行っている。また、多額の費用がかかる場合は国や県、各種団体への補助金制度も活用できるようにしている。

地域の祭りは地域が守り伝えていく。そのためには、熱意あるリーダーの下、祭りの意味や意義を発信するとともに、未来を担う子供たちを巻き込んだ取組を町として積極的に支援したいと考えている。



悪魔払い（飯塚）

## こんな質問もしています

・令和5年度の予算編成の基本方針について問う